

テーマ1 放射性物質はどこへ？

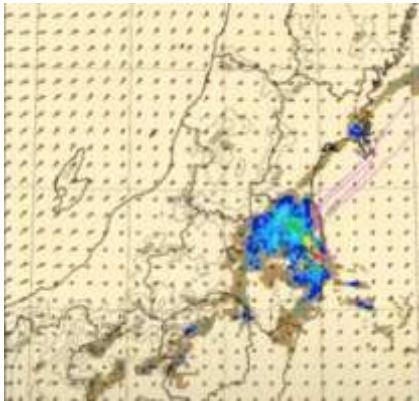
※表現方法や画面推移など具体的な内容は映像プロダクションが入った段階で詰めていきます。
 使用画像はマッピングイメージの参考です。このデータを使用するというものではありません

パート1 自然界に放たれた放射性物質

マッピング投影内容

(スケール：東日本)
 事故後から一定期間の、放射性物質の拡散シミュレーション動画

各機関がシミュレーションを行っておりますので、どのデータを使うかは協議



ナレーション例/
 サブスクリーン表示内容例

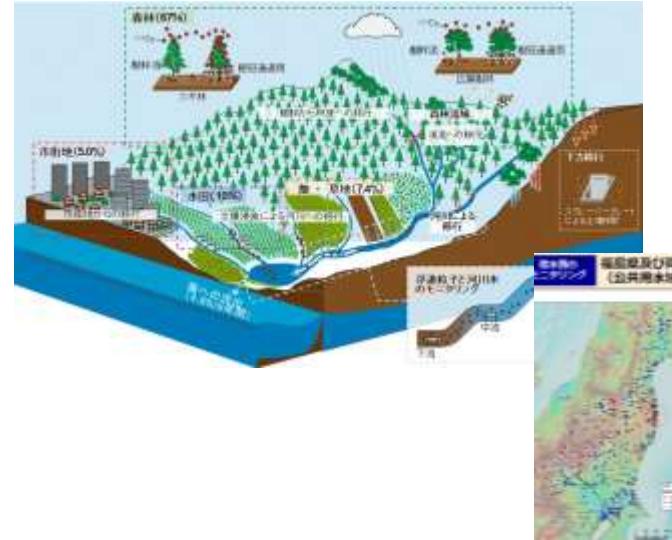
原発事故が起こり大量の放射性物質が大気中に飛び散りました。

どれだけ大量かということ
 放出された放射性セシウムは
 6~20ペタベクレル
 (ペタは10の15乗)

放射性物質の飛び散り方はその時の風の向きや強さによって様々に変わります。
 (事故の状況に合わせた拡散量の変化にも言及。ベント、爆発した時は大量など)

ここで簡単に放射性物質とは何かをごく簡単に説明
 放射性セシウム137/134、ヨウ素の説明

(画面切り替わり 非マップ 陸地局所断面)
 陸域の放射性物質の移行イメージアニメーション



森に少し近づいてみましょう

森にはたくさんの木が生えています。その木の葉が一番先に大気中の放射性物質を捉えたのです。(だから森に多く定着したのか?)

以下森林の放射性物質の移行の仕組み説明

続いて河川・陸水域への移行も

パート3 生き物と放射性物質

(画面切り替わり 混合)
 森の中を歩いていくような映像
 その中で様々な動植物への放射性物質の移行に関する情報をデータを交えながら

これまでは森の中で放射性物質がどのように動いてきたかについて説明してきました。ここからはさらに、森に生きる様々な生命にどのように影響を及ぼしているのかさらに近づいてみてみましょう。

以下、陸・水様々な生態系を通じた野生動植物への移行について説明

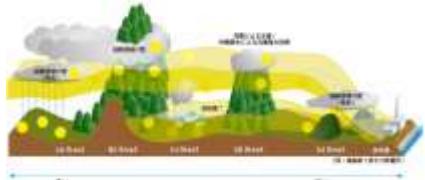
(画面切り替わり スケール：福島)
 森林の空間線量率の変化



これまで見てきた通り、陸地、特に森林の中に留まる放射性物質は事故後1年ほどで急激に減少しましたが、その後は下げ止まっています。セシウム137は半減期が長く、影響はまだ続きます。動植物の体内には蓄積されていることもわかってきました。これからも注視の必要等々

パート2 陸に向かった放射性物質

(画面切り替わり：非マップ アニメーション)
 大気中に飛び散った放射性物質が雨や霧に混じったり、空気中の渦に乗って、海や陸の水辺や森林、畑に降り注ぐ様子をアニメーション化



(画面切り替わり スケール：福島)
 福島の森林分布と放射性物質の拡散



大気中に飛び散った放射性物質は雨や霧に混じったり、そのまま空気中の渦に乗って約7割が海へ、3割が陸に降り注ぎました。

中でも森林は陸上で放射性物質による影響を最も受けた場所。陸上に落下した放射性物質の67%が森林に降り注いだ。福島の土地を上空から見てみましょう。緑が多いですね。県土のおよそ7割が森林です。

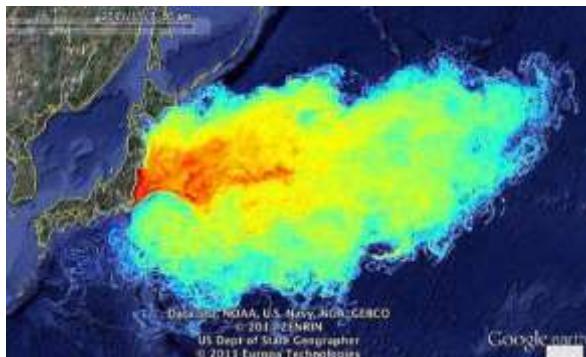
②未来創造エリア マッピングふくしま

テーマ1 放射性物質はどこへ？(つづき)

パート4 空と海は世界とつながっている

(スケール:日本+太平洋)

海への事故後から一定期間の、放射性物質の拡散シミュレーション動画



これまでは陸への放射性物質の影響を見てきました。

ここで、視点を変えて海に目を向けて見ましょう。

7割が海へと拡散
加えて海へは陸地の土壌から流れ込んだ放射性物質が河川を通じて流れ込みます。

また、ALPS処理汚染水(要説明)が海へ流され始めると、海の生態系への影響を注視していく必要があります。

放射性物質は大気や海を通じて、北半球を中心に広い範囲に広がりました。まずはアメリカ西海岸、そして欧州やアジアでも観測されました。これらの地域に辿りつ頃には薄まり、危険性はほとんどなくなっているものの汚染が広範囲に及んでいるのは事実です。

そうです、海と空は世界と繋がっているのです。

原発事故による放射性物質の拡散は日本の福島の問題だけでなく、地球全体の問題でもあるのです。

(スケール:日本から徐々にスケールアウト)

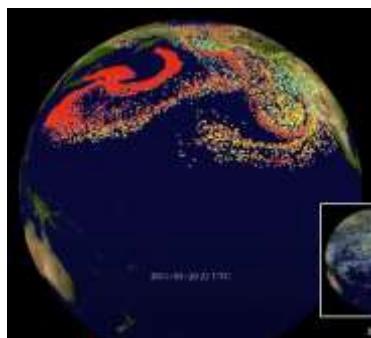
海への拡散のシミュレーション



一気に地球スケールに

(スケール:地球)

大気/海への拡散シミュレーション



海への影響でスケールが地球規模になるのをきっかけに、ここから地球環境の話に広げていく

テーマ2 地球の未来はどこへ？

パート1 海と放射性物質

これは宇宙から見た地球です。青く美しい地球。

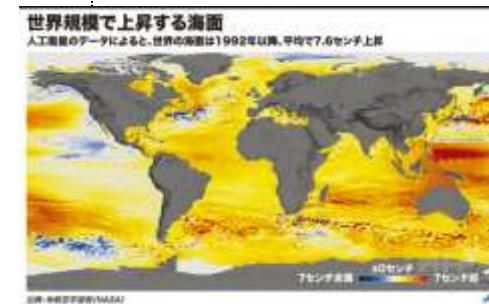
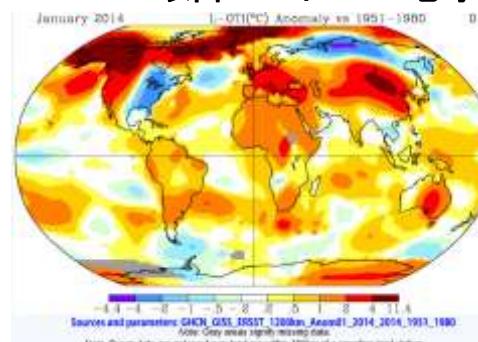
この地球環境に近年様々な問題が持ち上がっています。

福島の放射性物質の拡散のような陸・海・空に及ぶ汚染もその一つです。

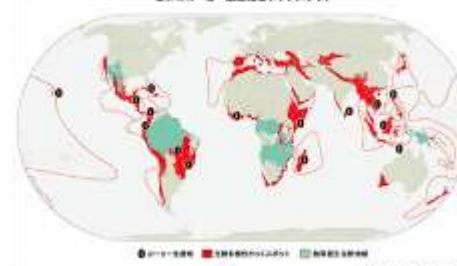
これから、地球環境にどんな問題があるのか見て行きましょう。



以降パート1~4地球環境の課題について展開



■森林の減少が目立つ地域 ■森林の増加が目立つ地域
■森林にわずかな増減がある地域(年間 -0.5%~+0.5%)



森林減少→世界の生物多様性ホットスポット

②未来創造エリア マッピングふくしま

テーマ3 ふくしまの未来はどこへ？

パート1 ふくしまの生き物も減っている



再び日本、福島にスケールイン

テーマ2と3のつなぎ方
テーマ2のラストで生物多様性を
取り上げるのをきっかけに、再び
福島スケールに戻り、人とあらゆる
生命・自然が共存する福島の
未来ビジョンにつなげていく

続いて 2)ふくしまの環境も変化している(割愛)

パート3 ふくしまから始まる未来の創造(最終章)



これまで見てきた通り、福島、そして地球には解決しなくてはならない課題がたくさんあります。しかし、これまでに経験したことのない原子力災害を経て、福島県では、人間やあらゆる生命が地球上で生きていくために、福島だからできる、福島から始める未来のビジョンを持っています。また地球規模の「環境問題」に対する取組としてSDGsに関しても言及。

環境創造センター
福島新エネ社会構想
イノベーションコースト構想
等の福島の社会の未来像について解説

福島から始まる未来創造の
ビジョンを示しエンディング